

「六年目を迎えて」

東北農政局 和賀中央農業水利事業所
前豊沢川農業水利事業建設所長 寒河江 陽二



久保田理事長をはじめ、豊沢川土地改良区組合員の皆様には、平素より国営「豊沢川地区」の事業推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和2年度も引き続きよろしく申し上げます。

今年の冬は、暖冬・少雪など統計開始以来の異常な気象との報道がなされ、豊沢ダムも同様に異常な気象でした。降雪量の少なさ、2月の大雨など異常な気象が3月まで続いたところ。営農に向け安定的な貯留が確保出来ることを祈る毎日です。

国営事業の進捗で見れば、念願でありました小水力発電施設造成後の売電に必要な「系統連系申込み」を本年2月に東北電力に提出（受理）したところです。今後の進捗については節目々々で土地改良区事務局と情報を共有しながら進めて参ります。

一方、本年度の工事実施予定は、前年度からの継続工事2件（豊沢ダム取水施設製作据付工事、同放流施設製作据付工事）の完成を図ります。また、新規に豊沢ダム管理事務所建築工事を契約し、こちらも本年度中に完成を図る予定です。さらに新規発注1件（仮称：「豊沢ダム放流施設下部工その他工事」）を予定し、5月に契約できるように、現在事務処理を進めております。

これからも安全に留意し、事業効果の早期発現を目指して工事を進めて参りますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、4月の定期人事異動により、当建設所より異動することとなりました。2年間の在職中に頂いたご支援やご協力に感謝申し上げますとともに、国営事業への引き続きのご協力・ご理解を賜りたく申し上げます。

令和元年度工事実施状況

令和元年度工事（工事用道路）
完成した工事用道路（令和元年12月）



令和元年度工事（取水施設）
塔内へのコンクリート打設（令和2年2月）



令和二年度におきましてもこれを着実に果たすために、組合員はもとより、行政機関、関係農業団体と密接な連携を図りながら、事務事業の推進に役職員一同、一層の努力を傾注して参る所存でありますので、よろしくご協力下さるようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、本年の年明けから新たな感染症・新型コロナウイルスによる感染の世界的な拡大が続いており、農業のみならず社会経済への影響が計り知れない状況となっております。組合員の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。また、本年が安穏で、自然災害もない豊穡の年でありますことをご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

ごあいさつ



理事長
久保田 泰輝

組合員の皆様には平素より当土地改良区の業務運営全般に亘り格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、行政機関をはじめ関係農業団体各位には、各般に亘る土地改良事業の推進にご懇切なるご指導、ご配慮を賜り、衷心より感謝申し上げます。

現下の日本の農業をめぐる諸情勢は、かつてないほど厳しいものがあり、高齢化や人口減少に伴う担い手不足、加えて全国各地で大規模地震や気候変動による集中豪雨が多発し、大きな被害をもたらしております。当地区におきましても担い手対策や防災・減災対策が喫緊の課題となっております。先人達から受け継がれてきた農地や農業

当地域は、早くから県内の他地域に先駆けて、担い手の育成とコスト低減、転作作物の導入等を中心とした大區画化や暗渠排水に取り組みしてきましたが、整備から既に数十年を経過する地区が多く、用排水施設の維持補修に努めてきたものの、基幹的な水利施設やパイプライン関連施設等の経年劣化が進み、これら施設の更新・改修に向けた対策が重要となっております。併せて大型農業機械の効率的な稼働や水管理の労力軽減等を視野に入れた更なる大區画ほ場整備の導入も求められております。

申し上げるまでもなく農業は命の源である食糧の生産とともに豊かな自然の創造、国土の保全など国の根幹を支える極めて重要な産業ですが、この農業を安定的に、さらに発展させるためには環境整備が不可欠であり、生産基盤である農地及び農業水利施設の整備、そしてその適切な維持管理は土地改良区に課せられた基本的な使命であります。

施設として洪水防水機能や水源涵養機能など地域の生活環境をサポートする様々な役割を有する農村、この大切な財産を新たな世代へ確実に引き継いでいかなければなりません。